

2019年8月号

8月15日(木)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 275



## ハイケボタルの夏、ところが…

はじめじめした日の続いた7月中旬の夜はハイケボタルがよく飛びました。ところが、恒例のホタル観察イベント前日までに、付近でヒグマの目撃情報が相次ぎ、残念ながら今年はイベントを中止せざるを得なくなりました。そして7月末から記録的に連続した真夏日。自然との付き合い方を改めて考えさせられる1ヶ月でした。

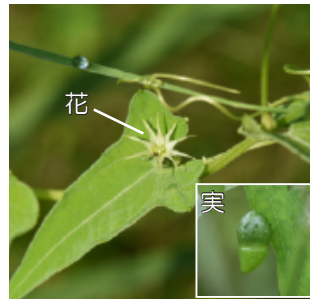
☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【サワギキョウ】  
 キキョウ科 沢桔梗  
 この時期の定番の花ですが、エゾシカの食害で年々数が減少してきているようです。ヨシの隙間に咲いていることもあります。



【ゴキツル】  
 ウリ科 合器蔓  
 湿原では珍しいウリ科の植物。花は小さくわかりづらいですが、「器」を「合」わせたような実は可愛らしい形をしています。



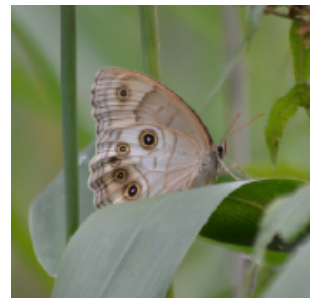
【ホソバアカバナ】  
 アカバナ科 細葉赤花  
 名前の通りの細い葉と、淡いピンク色をし、先の割れた4枚の花弁が特徴です。木道の脇で咲いているので、観察もしやすい花です。



【エゾナミキ】  
 シソ科 蝦夷浪来  
 絶滅危惧種にもなっている植物で、波のような花の形が名前の由来です。ヨシ・スゲ湿原に今年は特に目立って咲いていました。



【エゾイチゴ】  
 バラ科 蝦夷苺  
 遊歩道の片隅でひっそりと咲くイチゴの仲間です。株数も多くなく目立たない花なので、探すのにいつも苦労します。



【オオヒカゲ】  
 タテハチョウ科 大日陰  
 森に近い所でヒラヒラと舞う大型のチョウです。全体的な色合いは地味ですが、裏面には目玉模様の黒斑がいくつもあります。

○表紙の写真 上：ヘイケボタル 中右：ビジターセンター 中左：木道に出てきたエゾシカ 下：ドクゼリ

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

温根内周辺の鳥たちは子育て真っ盛りです。夏鳥のほかに留鳥の幼鳥もよく見かけます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。



【シジュウカラ（幼鳥）】  
留鳥 シジュウカラ科 四十雀  
ハンノキの間を群れが飛び回っていました。幼鳥は成長の黒色部分が淡く、胸の黒いラインも細くてあまりはっきりしません。



【アカゲラ（幼鳥）】 留鳥  
キツツキ科 赤啄木鳥  
幼鳥は雄雌とも頭のとっぺんまで赤いのが特徴です。メスの成鳥に追い立てられていたので親離れを促されていたのかもしれませんが。



【アオジ（幼鳥）】 夏鳥  
ホオジロ科 青鷗  
木道の脇や茂みの中から時折姿を現し、親鳥との区別が難しいくらい成長しています。個体数も多く、晩秋の頃まで見られます。



【ゴジュウカラ】 留鳥  
ゴジュウカラ科 五十雀  
好奇心が旺盛で、木道に出てきたり人の様子をうかがっていたりします。他のカラ類などと共に行動しているようでした。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（7月15日～8月14日）※和名は五十音順 \*外来種

■アカネムグラ■アキカラマツ■アキノウナギツカミ■イグサ■イケマ■イチゲフウロ■イヌエンジュ■イヌタデ■イヌトウバナ■イワアカバナ■イワノガリヤス■ウド■ウマノミツバ■エゾイチゴ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾタチカタバミ■エゾトリカブト■エゾナミキ■エゾノカワチシャ■エゾノギシギシ\*■エゾノコギリソウ■エゾノシモツケソウ■エゾノミツモトソウ\*■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■エゾムグラ■オオアワガエリ\*■オオウバユリ■オオダイコンソウ■オオバコ■オオハナウド■オオバナヤエムグラ■オトギリソウ■オニノヤガラ■カキツバタ■カタバミ■ガマ■カラハナソウ■カラフトノダイオウ■キオン■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサヨシ■クサレダマ■クスダマツメクサ\*■クルマバナ■クロバナロウゲ■コウソリナ■ゴキツル■コクワ（サルナシ）■コタヌキモ■サワギキョウ■シオガマギク■シロツメクサ\*■スズメノカタビラ■セイヨウタンポポ\*■セイヨウノコギリソウ\*■セリ■タチギボウシ■タヌキモ■チシマアザミ■チシマノガリヤス■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■トウヌマゼリ■トキソウ■ドクゼリ■トモエソウ■ナズナ■ナンバンハコベ■ネジバナ■ハシドイ■ハッカ■ハナタデ■ハナタネツケバナ■ハンゴンソウ■ヒメカイウ■ヒメジョオン\*■ヒメスイバ\*■ヒヨドリバナ■ヒロハヒルガオ■ヘラバヒメジョオン\*■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノヨツバムグラ■マツヨイセンノウ\*■ミソガワソウ■ミソソバ■ミツバ■ミツバフウロ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ミミナグサ■ミヤマアキノノゲシ■ムラサキツメクサ\*■モウセンゴケ■ヤブジラミ■ヤマニガナ■ヤマブキショウマ■ヨブスマソウ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（7月15日～8月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■カッコウ■トビ■フクロウ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■ウグイス■ヤブサメ■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■メジロ■マキノセンニュウ■シマセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■クロツグミ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■ニューナイスズメ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■イカル■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

### ☆☆☆☆ アルバイト大学生のクモ日記① ☆☆☆☆



初めまして、北海道教育大学釧路校4年目の和田山優輔と申します。昨年からの夏季期間中、温根内ビジターセンターでアルバイトをしています。僕はこのアルバイト中に釧路湿原の様々なクモを見たの

がきっかけでクモにハマりました！私が感じるクモの魅力は、それぞれのクモに特徴がある部分です。例えばアシナガクモのスタイリッシュな体型やハの字型になっている非常に大きな顎はクワガタの大あごのようにかっこいいですし、ハシリグモがスタタタタ・・・と、ものすご

いスピードで走っていくのも見ていて面白いです。ハエトリグモのパチクリした目もかわいいと思います。また、この時期の卵や子を守る親グモたちはまさに命がけで、



ちまき状に巻かれた  
ヨシの葉

ピンセットにすら果敢に噛みついてきます。

今回は「フクログモ」を紹介しましょう。真夏の時期に湿原を歩いていると、ヨシやスゲの葉が写真のようになちまき状に巻かれているのを見たことはありませんか？これを

そーっと開けてみると、中にはクモが一匹と卵がたくさん入っています。このクモは「マイコフクログモ」や「クリロフクログモ」というクモで、ちまき状に巻いた葉の中で子育てをしているのです。ただ、親グモ自身は子を守るために必死になっており、噛まれる危険性もあるのでむやみに開けたりはせずに外から観察するだけにしておきましょう。



ヨシの葉にいたマイコフクログモ

## ☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

◎「盛夏の花を見に行こう」8月4日 参加者：21名



植物の生態に詳しい高嶋氏に講師にお招きし、夏の盛りを迎えた湿原の花々を見て歩く観察会を行いました。真夏の日差しが照りつける中、高嶋氏が語りきれないほど多くの花が咲いており、見どころ満載の観察会となりました。この時期見頃を迎えている大型のセリ科の花について見分け方を教えていただきました。人間にとっては毒草のドクゼリも、エゾシカがかじった食痕が多数見られ、エゾシカにとっては毒ではないという不思議にも思いを馳せました。また、ガマの雄花が咲いており、この花粉に止血作用があるということで、「因幡のしろさぎ」に出てくる話があるが嘘ではない、といったことも教えていただきました。ミスゴケ湿原ではモウセンゴケの小さな花と、虫を捕らえるための独特の葉を観察することができました。時折爽やかな風が吹き抜け、参加者が心地よく汗をかけた観察会となりました。

※「ホタルの週末」は、開催日前日までにヒグマの目撃情報が相次ぎ、夜間の行事でもあるため中止といたしました。

※※「ザリガニウォッチング～ウチダザリガニ編～」は、雨による増水のため危険と判断し、中止といたしました。

## ☆☆☆☆ イベントのご案内 (9月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪アイヌ民族が利用した植物 ～秋編～

〔日時〕9月8日(日) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

湿原を歩きながらアイヌ民族が利用した植物を観察し、彼らの知恵と歴史を学びます。春編から続くシリーズ2回目。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪バードカービング講座 1回目

〔日時〕9月8日(日) 10:00～15:00 〔定員〕10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕5,500円(材料費)

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

### ～ヒグマに出会わないために～

7月、温根内付近でヒグマと思われる動物の目撃情報が相次ぎました。北海道の自然の中にはヒグマがいるものと思って、うまく付き合いながら散策を楽しみましょう。熊鈴をつけたり、お話をしながら歩くなど、自分の居場所を知らせて、ヒグマと「出会わないようにする」ことが大切です。

### 月刊 温根内通信 No.275

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～17:00(11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料